

## 「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」の改善見直し(案)の概要

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」は、徳島県の進むべき方向と目標を示し、重点的に取り組むべき方策を明らかにした、平成19年度から平成22年度までの4年間の県政推進の指針となるものです。

県では、計画の基本理念である「オンリーワン徳島」の実現に向けて、7つの基本目標とこれを達成するために計画に盛り込んだ各種の施策・事業の着実な推進に全力で取り組んでいるところです。

この計画の進行管理にあたり、計画をより実効性のあるものとするため、「**進化する行動計画**」として、社会経済情勢等の変化や新たな県民ニーズに即応して、毎年度必要な改善見直しを行うこととしており、今回、平成20年度に向けた改善見直し(案)をとりまとめました。

### (1) 主な追加事業等

#### 1 「オープンとくしま」の実現

『オンリーワン徳島』の実現に向けた『新たな県政のかたち』づくり』を基本理念とする「とくしま未来創造プラン」の着実な推進

違法又は不当な要求に対して組織として適切に対応するための体制整備

#### 2 「経済飛躍とくしま」の実現

本県経済の中核的存在である中小企業の持続的な発展を促進するため、「徳島県経済飛躍のための中小企業の振興に関する条例(仮称)」を策定・推進

地域資源にさらなる磨きをかけ、競争力を有するオンリーワン産業を創造するため、「LEDバレイ推進ファンド」を「経済飛躍のためのファンド」へと増設

経済飛躍の実現のため、本県産業界を代表する方々の叡智を結集した「とくしま経済飛躍サミット」を開催

産業技術総合見本市「ハノーバー・メッセ」に徳島ブースを出展し、県内企業の海外販路開拓を支援・推進

県における科学技術施策の推進に向け、将来像や振興策を明らかにするため、「徳島県科学技術振興計画(仮称)」を策定・推進

「建設産業の構造改革の更なる推進」のため、再生支援に関する情報提供基盤の整備、産官学が連携した新技術・新材料の開発に意欲のある建設業者への支援、農林業の新たな担い手として円滑に参入するための支援を推進

LEDを利用した「光の八十八ヶ所」の認定など、「LEDといえば徳島!」といわれる地域ブランド化の推進

地域密着型の創業や経営革新について顕彰する県民参加型のあったかコンペ「平成藍大市」を開催

「障害者雇用促進憲章」に基づき、障害者の職業的自立支援を総合的に展開

就労意欲があるにもかかわらず就労できない「ひとり親家庭の子に対する就労支援」の推進

「とくしまブランド飛躍戦略」を推進するため、「農林水産物ブランド品目飛躍数」及び「県外におけるとくしまブランド協力店数」の数値目標を増

砂地畑農業に必要な「手入れ砂」として、川砂など従来の海砂に替わる技術の確立や普及を推進

優良な県産木材の産地認証、品質認証を支援するため、「木材認証制度登録事業所数」の数値目標を増

### 3 「環境首都とくしま」の実現

学校における環境学習活動を地域の企業等が支える「環境首都あどぷと・エコスクール」を活用した環境教育・学習を推進

「みなみから届ける環づくり会議」において、民間団体、事業者、研究機関、市町などと連携し、県南地域に密着した協働型の環境活動を推進

自動車騒音公害防止の基礎資料となる自動車騒音の状況及び対策の効果等を把握するための調査・評価における「評価区間」の数値目標を増

事業者による有害化学物質の自主的な管理を促進し排出削減するため、「化学物質排出自主削減事業所数」の数値目標を増

農業生産活動に由来する環境への負荷の低減を図るため、「徳島県有機農業推進計画（仮称）」を策定

民間の資金、資材、人材の協力を基に、県南地域の自然林から採集した広葉樹の種子を育苗・植樹して自然再生を目指す「どんぐりプロジェクト」を推進

環境に配慮した持続的な森林経営を行う森林の認証取得を推進するため、「認証取得面積」の数値目標を増

### 4 「安全・安心とくしま」の実現

県職員で構成する被災者支援チームなどから成る「徳島県職員災害応援隊」を結成し、迅速な県職員の応援派遣などを推進

南海地震等大規模災害発生時に、県南部圏域において迅速かつ的確な災害対策活動を行うため、「南部防災拠点施設」を整備

健康づくりへの関心をさらに高め、健康づくりの行動規範となる「健康とくしま憲章」を制定・推進

港湾施設の老朽化に備え、必要な機能を維持しつつ、将来の改良・更新コストを抑制するため、「港湾施設の長寿命化計画」を策定

県職員・OBの有志による自主防災組織の結成促進や活動の活性化等を地域に働きかける「南海地震対策推進パートナー」を育成

地すべり防止区域等が多く、孤立化が発生する可能性の高い西部圏域において、研修会の開催、手引き書の作成など、「西部圏域での孤立化対策」を推進

ダム放流操作の安全性・信頼性を確保するため、ダム情報処理設備、放流警報設備等の改良を推進

県民自らが食に関する知識を習得、判断する能力を高めるため、「『食の知』向上人材育成事業への参加者数」の数値目標を増

産地偽装など不適正表示の未然防止と県産ブランドの維持・育成のため、消費者への情報提供の徹底や監視システムの強化、検査体制の充実などを総合的に推進

消防防災ヘリコプターの特性を活かし、速やかに医師等を現場に派遣する体制の構築と自動人工呼吸器等、救急医療に必要な資機材の充実を図り、「ドクターヘリ機能」を導入

がん診療連携拠点病院の整備、地域連携クリティカルパスの整備、がん検診受診率の向上などを図り、「がん対策」を推進

年間365日の「小児救急電話相談事業」の実施について、目標年次を平成20年度に前倒し

県職員としての任期付き採用、現場復帰研修をはじめとする女性医師の再就業支援による「地域医療を担う医師」の確保

「三大疾病（がん、心疾患、脳卒中）による壮年期死亡率」の数値目標を増

県民総ぐるみの健康づくり運動を推進するため、「健康とくしま応援団への加入数」の数値目標を増

ウイルス性肝炎の早期発見・早期治療のため、検査・治療体制の充実を図るなど、「肝炎対策」を推進

県民の自主防犯活動を支援するため、「自主防犯活動用自動車（青色回転灯装着車）台数」の数値目標を増

## 5 「“まなびや” とくしま」の実現

学校における学習活動や部活動などを地域ぐるみで支援するための体制整備として、「学校支援地域本部」を設置

「徳島県立総合大学校」を創設し、県民ニーズに応じた学習情報をワンストップで提供、地域の生涯学習リーダーとして「とくしま学博士」認定制度を創設

「子どもの自主的な読書活動を推進するイベントへの参加者数」の数値目標を増  
青少年に体験の場や機会を提供するため、「少年の日事業参加者数」の数値目標を増

育児の相互援助活動を行う「ファミリー・サポート・センター」の市町村の枠を超えた広域設置等を促進

地域の事業所の応援による子育て支援運動「Go! Go! くっつき隊応援し隊」が関西等での同種事業との相互利用ができるよう広域的な取り組みを展開(再掲)

消費者と生産者の交流を通じた相互理解の推進と県産品活用促進のため、「地産地消協力店数」の数値目標を増

学校における食育の推進を加速するため、全市町村での「学校給食における地産地消推進」の実施について、目標年次を平成20年度に前倒し

## 6 「「みんなが、とくしま」の実現

県庁女性職員の県政運営への参画を推進するため、県の「女性役付職員数」の数値目標を増

地域の事業所の応援による子育て支援運動「Go! Go! くっつき隊応援し隊」が関西等での同種事業との相互利用ができるよう広域的な取り組みを展開

障害者の自立支援のため、「就労訓練施設の生産品の販路拡大」などによる施設利用者の工賃アップの推進

「障害者雇用促進憲章」に基づき、障害者の職業的自立支援を総合的に展開（再掲）

藍場町地下駐車場でのエレベーターの設置、郷土文化会館への雨よけつき歩行路の整備

「ふるさと納税制度」の導入を機に、県内外に徳島の魅力を一層アピールするとともに、県出身者など本県ゆかりの方々との連携をさらに強化

## 7 「「にぎわい、とくしま」の実現

スポーツに関する事務を再編成し、スポーツを活かした「にぎわいづくり」や「健康づくり」など各種施策とのより一層の連携を強化

西部圏域の豊かな地域資源を活用した観光客誘致を推進するため、市町等と連携し、「観光案内人のスキルアップ」を推進

公式訪問団の受入や産業技術総合見本市「ハノーバー・メッセ」への徳島ブースの出展など、ドイツ・ニーダーザクセン州との交流の推進

公式訪問団の派遣など、ブラジル・サンパウロ州との交流の推進

県税など公金のコンビニ納付、電子納付、クレジット納付に段階的に対応可能な「次世代収納基盤システム」の導入、「自動車税のコンビニ収納」の整備

児童・生徒が身近に芸術文化に触れる機会を充実するため、「学校への芸術家等派遣回数」の数値目標を増

鳥居龍蔵博士の顕彰のあり方を見直し、県民がその業績等に触れる機会を充実するため、「鳥居龍蔵記念博物館（仮称）」を開館

さらなる「あわ文化」発信のため、本県が全国に誇る伝統芸能の「県外・海外公演開催数」の数値目標を増

国民文化祭の成果を踏まえ、県民の主体的な取り組みを促進する公募提案型事業や市町村との連携による演奏会などを盛り込んだ「県民文化祭」の開催

南部圏域における「アドベンチャーレースなどのアウトドアイベント」の開催

「とくしまスポーツSHOWデー」実行委員会による誰もが楽しめるスポーツイベントなどへの助成や情報発信の推進

## ( 2 ) 改善見直し件数

基本目標	現 行 主要事業数 (数値目標数) a	今回改善見直し(案)			見直し後 主要事業数 (数値目標数) a + b
		新規追加 主要事業数 (数値目標数) b	修 正 主要事業数 (数値目標数)	見直し合計 主要事業数 (数値目標数)	
「オープンとくしま」 の実現	57 (47)	1 (3)	5 (3)	6 (6)	58 (50)
「経済飛躍とくしま」 の実現	70 (78)	8 (7)	7 (6)	15 (13)	78 (85)
「環境首都とくしま」 の実現	72 (79)	3 (2)	4 (3)	7 (5)	75 (81)
「安全・安心とくしま」 の実現	86 (100)	10 (9)	9 (5)	19 (14)	96 (109)
「“まなびや” とく しま」の実現	72 (64)	1 (1)	10 (7)	11 (8)	73 (65)
「“みんなが” とく しま」の実現	63 (62)	2 (3)	7 (2)	9 (5)	65 (65)
「“にぎわい” とく しま」の実現	78 (80)	3 (5)	7 (2)	10 (7)	81 (85)
合 計	498 (510)	28 (30)	49 (28)	77 (58)	526 (540)

事業名、施設名の名称変更等の修正は、件数に含めていません。